

# 学校だより

学校だより 1月号  
令和6年1月9日  
発行者 外日角小学校  
TEL 283-0040

## 新年を迎えて

校長 板井 雅春

令和6年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。また、亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表します。

1月1日に令和6年能登半島地震が起こり、かほく市も震度5強の揺れがありました。外日角小学校も避難所となり、最大約200名の地域の方が避難されました。また、帰省先の珠洲や輪島など能登地方で被災し、避難所に身を寄せた児童もいます。引き続き起こる余震に不安もありますが、**地震の対応・児童の心のケアも含めて安心・安全な学校をめざし、教職員一同力を合わせていきます。**よろしくお願いたします。

保護者の皆様におかれましては、昨年中は様々なご協力やご支援を賜り、本当にありがとうございました。

さて、本日より3学期が始まりました。3学期は学年の締めくくりの学期であると同時に、新しい年のスタートでもあります。どんな小さなことでも『**継続は力なり**』『**塵も積もれば山となる**』です。根気よく1年間努力すれば、成果は現れるものです。3学期のスタートを機に、今年頑張ることを決めて取り組みましょう。



4月より児童には、「**3つの約束+1**」を守っていこうという話をしてきました。①話をしっかり聞く ②いいあいさつ ③協力・なかよく +自分の命は自分で守る です。会釈を入れた「いいあいさつ」のできる児童が増えてきたことはとてもうれしいです。

挨拶など人と関わる規範意識は、これまでの経験や学習などによって学んだことをもとに、正否や善悪の判断として身に付きます。ところが、今日、自分で判断できないことに対し「その人の自由」ということで、自分の責任を回避してしまうことが多い社会です。同時に、テレビなどで社会性の低下が取り上げられても、個人の好みの問題として片づけられ、人と違うことをするのが個性であり、良しとする風潮があります。そこでは違うことのみ価値を見出し、人間の尊厳に関わることでさえ個人の自由であるかのようにとらえられることが多いのも事実です。その結果、違いの位置づけが規範を超え、ルールやきまりさえ必要ないという無秩序な状況が生まれることも否定できません。だからこそ秩序ある体験による規範意識の醸成が求められます。子どもたちが守るべきことは秩序であり、今の環境においてきまりを通して規範の存在を実感することが大切です。そのことが、自分の存在とともに相手の存在を尊重できる、責任ある姿勢を培うものと考えます。ルールによって学校生活やスポーツがより楽しくできるように、お互いが豊かに生きるための共通の宝として、「3つの約束+1」も意識させながら規範意識の定着を図りたいと思います。

新年を迎え、震災もあり、今まで以上に誰もが豊かさを実感できる社会の実現が期待されます。実現するためには、子どもを取り巻く私たち大人自身が最も身近な教育環境であるという意識で、育ってほしい姿をモデルとして示すことが大切だと思います。人生のよき先輩として、身をもって規範意識の存在を示し続けることが何よりの教育であり、「教育は人なり」ということだと考えます。保護者の皆様、3学期も学校教育活動へのご理解ご協力をお願いいたします。

